

民間事業者へのヒアリング結果

民間事業者へのヒアリング結果①

●ヒアリング内容

緑化に取り組んだ動機

- ・公道に面する法面が**雑草で荒れ果ていたため外観を整える**ことを目的とした。**周辺企業の緑化と比べて見劣っており、それを改善すること**もねらいの1つとしてあった。
- ・従業員が満足して働けるよう敷地内の環境を改善することで、**人材確保に繋がることを期待**した。

緑化の効果

- ・従業員からは、**きれいになったこと**で一定の評価がある。

インセンティブになるもの

- ・緑化の取組や緑化によるCO₂吸収量等の効果を、行政等の第三者が評価・発信してもらえるとありがたい。自社による発信だけでは、説得力が弱い。
- ・業界として環境への取組が求められており、温室効果ガスの排出抑制や再生可能エネルギーの使用等に取り組んでいる。**社会から緑化を強く求めらるようになれば、より積極的に取り組むようになるのではないか。**

その他

- ・事業後に、維持管理の軽減を図るため、自動灌水装置を設置した。
- ・周辺企業とテーマを決めて同じ種類の木を植える等の仕組みがあると、おもしろいのではないかと。

民間事業者へのヒアリング結果②

● ヒアリング内容

緑化に取り組んだ動機

- ・ 株主や投資家から環境への取組を求められており、それらの要請に応えるために、地域の生態系ネットワークに配慮した緑化を実施し、ABINC認証等の認証取得にも取り組んだ。

緑化の効果

- ・ 認証を受けることで企業のアピールポイントになっている。
- ・ 緑化をしても従業員の満足度向上にはあまりつながっていないと思われる。

インセンティブになるもの

- ・ 行政からの表彰や感謝状は、社外へのアピールになる。
- ・ 働く環境の向上を目的とした屋内緑化はニーズがあるのではないかと。人材確保につながるものは会社としても取り組みやすい。

その他

- ・ 開発段階で緑地を計画をしないと、完成後の敷地に緑地を設けることは難しい。また、義務緑化を超えた緑化の取組もハードルが高い。
- ・ 社内では、脱炭素に向けた取組を推進する流れはあるが、緑化は優先順位が後回しになっている。人の出入りがあるエントランス周辺の緑地は灌水装置等で管理しているが、そうでない場所は予算が付きにくく、積極的な緑地の維持管理やリニューアルはできていない。
- ・ 緑地やビオトープを整備したもののうまく利活用できていない。地域での環境学習に活用してもらえるとよいが、ニーズの把握ができていない。